

アメリカ合衆国大統領

ジョセフ・ロビネット・バイデン・ジュニア 閣下

貴国において、2024年5月14日に、核爆発を伴わない臨界前核実験を行ったとの報道に接しました。

我が国において、1945年の8月6日と9日に、広島、長崎に原子爆弾が投下され、多くの尊い人命が失われました。79年前と同じ過ちを人類が繰り返さないために、核兵器の使用は断じて容認できるものではありません。

宝塚市は、1989年3月に「非核平和都市宣言」を宣言し、核兵器の恐怖を身を以て体験した被爆者をはじめ、多くの市民と共に、戦争や核兵器のない平和な社会づくりを進めており、人類史上唯一の原爆被爆国として、尊厳ある命を無差別に大量に奪う核兵器が使用されないよう訴えてきました。

私は、平和を願う宝塚市民を代表して、被爆者をはじめ核兵器廃絶を求める多くの人々の願いに背く貴国の行為に対し、ここに強く抗議の意を表します。

閣下におかれましては、広島・長崎における原爆の惨禍をあらためて思い起こされ、我が国をはじめ世界中の多くの人々の核兵器廃絶に向けた真剣な取り組みや、痛切な願いを心に留め、今後一切、人類を滅亡へと導く核に関する実験を中止するよう強く求めます。

2024年5月24日

日本国 宝塚市長 山崎晴恵

